

南連協

令和7年度（2025） 第1回 南連協子ども部会 議事メモ

日時：2025年6月5日（木）10：00～12：00

場所：ユニコム相模大野実習室

参加者：インクル相模大野 服部さん/すりーびーす南風 中川さん/みらいてらす相模大野 柴原さん/ハートピアアラ下溝 池田さん/和美小田急相模原 中澤さん/和美東林間 松岡さん/カナガク 斉藤さん/和美小田急相模原駅前 龍康殿さん・もう一方/まものりあ 長島さん/ひかり 棚橋さん/わのっこ 川崎、山田さん/ふうふう /ラビッツ 望月さん/あんじゅグランディール 岩崎さん/あんじゅ南台 和田さん/あんじゅ相武台 松田さん/えすぴー 鈴木さん (20名)

欠席：にこちゃい 清水さん/ポルト 北島さん/あつぷるジュニア 河野さん (3名)

子ども部会役員：きらり 原田さん/ワンステップ 立川さん/事務局 村田さん/たいにい 田嶋 (記録) (4名)

【はじめに】

子ども部会前部会長、今期子ども部会事務局原田より。本日の流れの説明。

前半部分は子ども部会に参加されていなくても関係のある部分で、放課後等デイサービスの説明会の部分であり、共同の説明会について内容を確認させていただく。

～全体会～

**1：今年度の『市との放課後等デイサービス合同説明会』の開催に向けて**

経緯を説明：バンビと共同で説明会を始めた。

- ・今年度も実施。南区の担当者と話を進めている。
- ・今年度の実施日、例年通り2回実施。

1回目は放デーの説明（南区の子セがメイン）7月7日（月）

2回目が事業所に関係する部分で、全体の説明会10月14日（火）

→メイン会場のわきに控室準備あり。準備する時間で使用可能。

※プロジェクターも使用できるので、PC使って映したい事業所につきましては対応できる。

※対象ご家族は年長を対応としている。行政としては就学を控えた年長にという意図。

「説明会開催の行政からのお知らせ添付」

→申込書添付、事業所に使用法は任せる。

※連協としてはどこの事業所の、誰が来るかわかればいい。

連協のHPに過去の説明会の動画が乗っている。連協のHP確認してください、

参加者の集約のところで、参加者の連絡。

連協の締め切りは6月21日（土）としていますのでよろしくお願いします。

(Q&A)

### 行政の垣根について

- 道路を挟んだ向こう側が座間市であり、同市からの問い合わせが増えている。
- 市の垣根をなくす必要があるのではとの意見。
  - 現状は南区の事業所・南区在住の子どもを対象にしている。
  - 事務局から市に要望と質問を投げかける予定。
- 行政の垣根をなくしてほしい希望はあるが、行政にも役割があり、現実的には難しい。
- 折り合いをつけつつ協力を得ていく形が望ましい。
  - 南区・年長児に限定している理由についての理解を求める。
  - 「市との共催をやめては？」という声もあるが、行政と共催することでアナウンスカや信頼性が高まっている。
  - 共催を選ぶのであれば、行政と協力的な関係を築いていく必要がある。

(今後のスケジュールについて)

#### ■ 今年度の合同説明会に向けての進捗と予定

先月、第1回打ち合わせを実施。

本日、子ども部会を開催。参加できなかった事業所にはメールで報告予定。

各事業所へは、参加案内を通知予定。

→ 事業所スタッフの研修参加も可能。

第2回の打ち合わせに向けて：9月初旬に

- 資料の改修

- パンフレットの封入作業を行う予定。

→ 作業の流れは例年通り。

事業所一覧（エクセル）を作成中。

→ 封入作業への協力依頼の可能性あり。

～後半は子ども部会総会～

#### 2: 今年度の子ども部会の体制について

・参加事業所様 本日参加の皆さんより自己紹介

・テラスさくらは4月よりインクル相模大野に名称変更

- ・みらいテラス相模大野は4月より多機能に。小学1年生の夏休みまで。
- ・子ども部会役員自己紹介

### 3: 最近の話題共有、相談等。

#### (大人部会の活動報告)

#### ■ 成人福祉サービス説明会について（事務局・村田さんより）

- ・ 開催日時：6月22日（日）12:00～
- ・ 会場：松ヶ丘、3階研修室
- ・ 内容：事業所説明＋座談会形式
  - 人生の転機にある利用者が本人として参加して楽しめる内容に。
- ・ 開催背景：土日開催希望の声があり、第2回目の開催となる。
- ・ 対象：全年齢（子ども事業と異なり、自主運営）
- ・ 参加申込：チラシあり／パンフレットの配布・転送歓迎
  - Googleフォームからの申し込みで、送迎も検討中
- ・ 現状応募者数：3名（参加促進を希望）
- ・ 南連協 Instagram も立ち上げ済み

#### ■ 質疑応答

- ・ Q：座間の方も参加可能？
  - 基本は南区対象だが、関係のある方ならOK。
- ・ Q：申込締切は？
  - 締切なし／当日参加もOK（ただしフォーム記入はお願い）
- ・ Q：定員は？
  - 60～70名まで対応可能

#### ■ （学校との連携・下校時間対応について）

- ・ 放課後等デイサービス（放デイ）の下校時間確認について、学校からの対応が冷たいことがある。
- ・ 月替わりで下校時間がギリギリまでわからないため、保護者に連絡→学校へ確認という手順が必要。
  - 学校側は保護者対応しか基本的に受け入れない雰囲気
- ・ 「トライアングルプロジェクト（平成30年度）」では、保護者・学校・放デイの連携が求められていたが、現場では実現が難しい。
- ・ 最近の例では、中学校に連絡した際に「今後は事業所から連絡しないほうがよい」と言われるなど、対応が後ろ向き。
- ・ 教育委員会に要望書を提出できないかという提案。
- ・ 学校側に対しては、「連絡されたくないなら、もっと早く予定を出してほしい」との要望あり。

## ■ 引き渡しの安全確保と周囲の協力

- 子ども安全見守り隊（地域の高齢者ボランティアなど）には毎月 20 日頃に予定が伝わる。
- 前日にならないと利用予定がわからないことが多いが、学校側の予定が早く出れば安心して対応できる。

## ■ 補足

- 教育委員会への要請が功を奏し、保護者の嘆願書によって予定が早く出た例あり（年末に 4 月分が出た）。
- 校長先生の裁量が大きく影響している。
- 電話で問い合わせると、「遅れる事業所」と見なされる傾向もある。
- 先生が放デイをどれだけ理解しているかによる。
- 「連携がスタンダード」という考え方を広げたい。
- 新入生の保護者はお迎え方法を知らないことが多く、学校に直接聞くしかない。
- 鶴の代小学校は丁寧に対応してくれた例もあり、管理職の意識の差が顕著。
- 保護者の協力を得る方法が参考になった。

## ■ 意見（元中学校教諭）

- 学校には教務部があり、年間カリキュラムをもとに時間割を調整しているが、近年は授業時間確保のため毎週のように組み替えが発生。
  - そのため、前日にならないと予定が出ないのは、現場の先生のせいではないことも多い。
- 現場教員も板挟みで苦勞している。
- 学校の対応には立地によっても差がある（例：16 号沿いと住宅街の学校で違い）。

## ■ 今後の動き

- 市の教育委員会担当者が原さんから緒方さんへ交代予定。

## ■ 教員配置・支援教育への思い

- 小学校の支援級に配置される先生には 2 通りある：
  - 支援教育に情熱を持ち、自ら選んでいる先生
  - 通常学級でクレームを受けて異動させられた先生（いわゆる「左遷」）
- 本来、支援級には専門性と熱意のある良い先生が配置されるべき。
- 次回、緒方さん（教育委員会）にこの点を直接伝えたい。

## ■ 駐車場問題

- 鶴園小学校では長年、「止められないならコインパーキングを使ってほしい」という方針。
  - 危険な運転をする放デイが一部に存在するという実情も背景に。

- 南大野小学校では、副校長の柔軟な対応で、裏口に3台の駐車スペース確保。  
→ 地道に校長・副校長との交渉を通して、1校ずつ解決していく姿勢が必要。

#### ■ 費用の取り扱いと保護者対応

- コインパーキングを使った場合：
  - 保護者からの請求は可能という声があるが、
  - 事前に説明しておかないとトラブルになる。後出しは避けたい。
  - 児童が複数いる場合は割り勘にしたこともあり。
- 学校側の事情として、年度中に駐車場所の変更などは難しく、基本的には4月などのタイミングでしか変えられない。
- 運営指導の際に費用項目の取り扱いについて指導されたという事例：
  - 費用区分（活動教材費、食事、交通費など）を明確にしないと請求不可。
  - 文言として運営指導上で定めがなければ、保護者同意を得たうえで追加記載するしかない。

#### 欠席時対応加算に関する指摘（過誤申請の事例）

- 相談援助記録がない場合、欠席加算は算定不可。
  - → 実際に過誤申請となったケースがあった。
- 「その他相談事項特になし」と一文でも記載がないとダメ。
- 法改正により基準が年々厳しくなっている。
  - 過去にOKだったことが、現在ではNGに。
- 基盤課の担当者によって解釈や回答に差がある。
  - → 「一度見てしまったので今回は指摘しますが、今後は察してほしい」

#### ■ 専門的支援加算の考え方（自治体間の差）

- 市町村ごとに専門的支援加算の解釈や運用が異なる。
- 市町村によって違うので保護者も混乱している。
- 今期の基盤課担当：石塚さん、新沼さん。

#### ■ 相談支援事業所との連携（集団指導での指摘）

- 「支援計画を相談支援事業所に送付しているか？」がチェック対象。
- →送っていない場合は、運営規定の変更が必要。
  - 個別支援計画、安全計画、ハラスメント対策なども改訂が必要に。
  - 支援計画は電子署名で管理。ペーパーレス化が進行。
  - →印刷できる状態であれば問題なし。
- 相模原市内では、全体周知が不十分。

#### 実績記録の扱い（自治体での違い）

- 相模原 レ点チェックでOK
- 座間 印鑑が必要

## ■ 避難訓練と通報訓練の対応（実地指導での指摘）

- 「通報訓練が必要と言われた」
  - → 建物に\*\*自動火災報知機（自火報）\*\*がある場合：
    - 防火管理者を選任し、通報訓練が必要
  - 成人GHと共通運用で、職員研修で対応している。
  - 消防署への通報訓練は別枠だが、研修で十分な場合もある。

原田：いろいろ話題は尽きないが、時間なので終わりにしたい。

### 【最後にお知らせ】

南連協の総会は7月2日に決まりましたので、ご参加ください。

総会 10：30～ユニコム 세미나ールーム1。